

2022 年度事業報告（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）

認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター

総論

2022 年度はわかやま NPO センターの NPO 法人化から 20 周年の節目の年となりました。2020 年から続く新型コロナウイルス感染症の動向を見据えながらの活動となりましたが、感染対策に気をつけながら、地域の課題解決、よりよい社会づくりに向けて活動を続ける NPO 等の支援を一定進めることができたと考えています。

昨年度の事業計画では以下の 3 つの重点ポイントを設定しました。

- 【1】 広範な NPO の持続可能性を追求する
- 【2】 「地域運営組織」支援への足掛かりを生み出す
- 【3】 オール和歌山による公益的活動支援のプラットフォームづくりを目指す

人口減少、特に現役世代の減少等もあり、NPO・ボランティア団体の担い手不足も深刻な問題として取り上げられるようになりました。指定管理者として運営している和歌山県 NPO サポートセンターが実施した NPO 向けアンケートでも後継者・担い手不足の意見は多くみられます。新たな NPO 等の設立相談が寄せられた際に、法人化の是非だけではなく、活動をどう継続できるかにも焦点を置いた相談対応を心掛けたほか、NPO の組織基盤協強化のため、ニーズが高かった会計に関する連続講座を展開するなど、ニーズに即した NPO 支援活動を実施しました。

NPO 等に限らず、自治会・町内会の担い手不足も大きな課題となるなか、橋本市や田辺市で「地域運営組織」もしくは「小規模多機能自治」とよばれる、これまでにない形の地域づくりに向けた検討が本格的に始まっています。2023 年度以降取り組みが徐々に始まることから、両市の取り組みと引き続き連携していくことを確認できました。

産官学民による公益活動支援活動として 2021 年度に立ち上げた「わかやま SDGs パートナーシップ基金」は 2 年目を迎え、今年度も多くのご寄附を頂戴しました。しかし、産業界との連携は道半ばで「オール和歌山」による支援には至っていません。

2022 年度個別計画ごとの自己評価

1) 和歌山県 NPO サポートセンター運営

指定管理者第 6 期の 2 年目となる 2022 年度の NPO サポートセンターの来館者数は、前年度比約 18%増の 9,688 人（オンライン利用者を含むと 9,825 人）となりました。新型コロナウイルス感染症の第 7 波・第 8 波はありましたが、ご利用が徐々に戻ってきていることがうかがえます。

各種講座は会場と ZOOM を使ったハイブリッド開催を基本とし、一部講座では YouTube での見逃し配信などの工夫も実施。また NPO のニーズに基

づき会計に関する連続講座を開催しました。NPO サポートセンター YouTube チャンネルでは、スタッフによる取材先団体の活動の様子や、センター長による NPO 法人制度の解説動画などを配信。様々な取り組みを進めました。

また、NPO サポートセンターの機器のご利用が大幅に伸び、過去最高を記録。ZOOM 等を使ったオンライン相談、メール等による相談も急増するなど、コロナ禍を経て、新年度への期待が持てる 1 年となりました。

また、2023年3月より、内閣府 NPO ポータルサイトから NPO 法人がオンラインで各種申請ができるシステムが稼働を開始しました。所轄庁により利用開始時期は異なりますが、和歌山県は3月から利用できるようになったことから、NPO サポートセンターでも今後の相談対応の増加に備えて準備を進めています。県庁の協力を得て、実際に入力や申請のテストを複数おこない、初期の不具合を多数内閣府に伝えて改修いただくなど、他県に先駆けた対応を進めています。



2022 年度ご利用が急増したフルカラー印刷機



随時最新情報を配信している和歌山県 NPO ホームページ「わかやま NPO 広場」

2) NPO の組織基盤強化支援

NPO の円滑な運営につながる運営実務支援の実績は微増にとどまりました。一方、団体からのご要望をもとに、JR 和歌山駅至近にある法人事務所の有効活用に向けた足掛かりをつくることができました。2023 年度に少しずつ事業を展開する予定です。

わかやま SDGs パートナーシップ基金については 22 万円を上回るご寄附をいただき、わかやま NPO センターからの拠出金を加え、30 万円の助成枠を設定。SDGs ゴール 3「すべての人に健康と福祉を」

に向けて活動をおこなっている団体に対する助成事業を実施し、36 団体（前年度 44 団体）のご応募をいただきました。わかやま NPO センター役職員等外部委員も交えた審査の結果、3 万円を 10 団体に助成しました。



2021 年度助成を受けた活動の様子（写真提供：NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・和歌山）

一方、15 周年を迎えた「花王ハートポケット倶楽部地域助成事業」については、助成金獲得講座（NPO サポートセンター自主事業として実施）も合わせて開催。花王株式会社、花王ハートポケット倶楽部との協働事業として実施しました。

休眠預金等活用事業については情報収集を進めましたが、本年度は資金分配団体等への応募は見送りました。

わかやま NPO センター法人化 20 周年記念事業として、2 月に岸本周平知事をお招きしたフォーラムを開催。約 60 名のご参加をいただきました。県政と NPO の関係に関する有意義な討議ができ、継続開催のご希望も承っています。



岸本周平知事をお迎えした 20 周年記念フォーラム

3) 様々な主体とのパートナーシップによる公益活動支援・SDGs 達成に向けた取り組み

★企業との連携

近畿労働金庫「NPO パートナーシップ制度（近畿2府4県のNPO 支援機関との連携事業）」に基づき、和歌山県内の「地域の居場所」に関するフォーラムを開催。社会貢献預金「笑顔プラス」寄附事業としては御坊市社会福祉協議会への防災備品の贈呈と、紀州鉄道車庫で初の避難誘導訓練と防災に関する講義を実施しました。



ろうきん「地域の居場所フォーラム」

また先述の花王ハートポケット倶楽部助成事業のほか、大塚商会「たのくんからの贈り物」¹による会員 NPO への物資等提供、明治ホールディングス「選択寄付制度」²による県内の障がい児支援施設へのお菓子寄贈（橋本市市民活動サポートセンター、田辺市市民活動センター、新宮市ボランティア市民活動センターの3センターの協力）のコーディネートを実施しました。

和歌山県社会福祉協議会災害ボランティアセンターの幹事団体として、ボラセン設置訓練などの事業に積極的に参加するなど、万一の備えも進めました。

★行政等との連携

和歌山市・橋本市・田辺市などとの事業連携を継続しました。和歌山市では協働推進委員会に出席したほか職員研修の講師を、橋本市では交付金事業のアドバイザーを、田辺市では職員研修と NPO 向け補助金の審査委員を、それぞれ担当しました。

¹ 輸送時に外装が傷むなどの事情で一般販売ができなくなったものの品質には問題がない商材を NPO 等に寄贈するプログラム

また、橋本市では地域福祉の「第2層協議体」単位で、田辺市ではおおむね公民館のエリア単位で、それぞれ自治会・町内会、NPO・ボランティア団体、学校・企業等様々な主体が連携した新しいまちづくりの組織体の構築に向けた取り組みが進められています。わかやま NPO センターも橋本市における懇話会、田辺市における市長と NPO の意見交換会に出席するなどの形で参画しています。

前年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送った、和歌山市議と NPO・ボランティアとの意見交換会は、和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会と連名による実行委員会の主催事業として2年ぶりに開催しました。

★NPO 等との連携

日本 NPO センターと損保ジャパンが共同事務局を担当している「SAVEJAPAN プロジェクト」では2021-22 シーズンの事業として「根来山げんきの森」でのオオムラサキ観察会の最終回を開催したほか、引き続き 2022-23 シーズンの事業採択を得て、紀美野町自然環境ネットワーク等との連携で同町「中田の棚田」での生き物さがしのプログラムを実施しています。

日本 NPO センターなどが全国の NPO 支援機関有志による「NPO・市民活動支援共有ミーティング（通称：わくわく会議）」には呼びかけ人として引き続き参画し、地域・組織規模は問わず、その時々での中央の NPO 施策やホットな話題に関する意見交換をおこなう取り組みを進めました。

また、和歌山県 NPO サポートセンター事業等でも NPO 同士の連携促進をおこなっています。

4) 情報発信力の強化

認定 NPO 法人サービスグラントのプロボノ（専門的技能を有するボランティア）のみなさんと取り組んできた、わかやま NPO センターのウェブサイト

² 株主寄贈品となるお菓子のうち、株主が寄贈に同意した分と会社が抛出した分を合わせたお菓子を全国の福祉施設や大規模災害被災地での子育て支援活動団体等に寄贈するプログラム

トリニューアルの第1弾が完了しました。まず2022年12月に <https://wnc.jp/>ドメインで運用を開始。お問い合わせフォームを新規に設置したことで、さっそく数件、NPO等に関するお問い合わせが届いています。第2弾として県内のNPO・ボランティア団体情報、イベント情報、助成金情報のデータベース化が引き続き行われています(2023年4月に開設)。

わかやま新報隔週金曜連載 NPO 紙面「和歌山を創る新聞・わかつく」は通算300号を達成し、現在も連載を継続しています。

このほか、Facebook ページ、Twitter、YouTubeなどでNPO向けの情報を随時発信。県外のNPO支援機関などからも反応があるなど、一定の成果を上げていると考えています。



わかやま NPO センターウェブサイトと YouTube

5) 組織力の向上

寄附金税制が受けられる認定 NPO 法人として、毎事業年度、3,000 円以上のご寄附³を 100 名以上から頂き続けることが求められています。2022年度は約 100 名のご協力をいただくことができました。みなさま、ありがとうございます。

³ わかやま NPO センターの場合は、寄附金に加え、正会員会費 2 口目以降と賛助会員会費 3 口以上を入金いただいた方も寄附金税制対象となる入金として取り扱いができます

組織運営に際しては、毎月 2 回程度、正副理事長によるミーティングをおこない、業務の進捗状況の確認等を実施しているほか、2 か月に 1 回理事会を開催し、必要な事項の議決、協議などを行っています。加えて、毎月 2 回、全スタッフが集まるミーティングを実施し、その時々の方々の事業の進捗状況をシェアしたほか、適宜、スタッフが分担しながら外部の学習会等に参加しました。

和歌山県との間で締結している「人権尊重のまちづくり協定」に基づき、人権研修の実施、人権に関するトピックスを職員内で共有するなどの取り組みを継続しました。

【ご参考】

※ わかやま NPO センターが連携している県内の NPO 支援機関

- 和歌山市地域フロンティアセンター
- 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会
- 橋本市市民活動サポートセンター
- 田辺市市民活動センター
- 新宮市ボランティア・市民活動センター

※ わかやま NPO センターが参加している主な県外の NPO 支援ネットワーク

- 日本 NPO センター CEO 会議
- NPO・市民活動支援共有ミーティング(通称「わくわく会議」)
- 近畿労働金庫 NPO パートナシップ制度・近畿圏 NPO 支援センター連絡会議
- 関西 NPO 支援センターネットワーク
- 全国 NPO 事務支援カンファレンス
- NPO で働く人の会(NPO 等職員向けの共済制度等の創設をめざす協議体)
- NPO 法人会計基準協議会
- フィランソロピー・CSR リンクアップフォーラム(在阪企業・NPO 等のネットワーク)

活動のあしあと

わかやま NPO センターの役職員が関係・参加した主なイベント・取り組みを掲載しています。

4月

- ・ 12日 フィランソロピー・CSR リンクアップフォーラム
- ・ 26日 理事会
- ・ 28日 橋本市地域づくり交付金審査会

5月

- ・ 19日・27日・28日 サポートセンターZOOM 集中相談日
- ・ 22日 わかやま NPO センター総会
- ・ 23日 ろうきん NPO パートナーシップ連携会議
- ・ 27日 橋本市地域づくり交付金審査会/理事会
- ・ 30日 和歌山市協働推進委員会

6月

- ・ 3日 県社協いきいきシニアリーダーカレッジ講師
- ・ 9日 和歌山信愛大学ゲスト講義
- ・ 17日 近畿労働金庫社会貢献預金笑顔プラス寄附金贈呈式/NPO 会計基準学習会
- ・ 20日 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会
- ・ 21日 理事会/大塚商会物品あっせん
- ・ 28日 NPO 事務支援カンファレンス総会

7月

- ・ 3日 SAVEJAPAN2021-22 シーズン最終回
- ・ 5日 橋本市地域運営組織検討懇話会
- ・ 14日 おもしろ環境まつり実行委員会
- ・ 15日 和歌山市職員研修
- ・ 20日 和歌山市協働推進委員会
- ・ 27日・28日 日本 NPO センターCEO 会議
- ・ 30日 わかやま市民生協講座
- ・ 31日 NPO 交流会

8月

- ・ 3日 NPO 支援センター初任者研修
- ・ 9日 おもしろ環境まつり実行委員会/フィランソロピー・CSR リンクアップフォーラム
- ・ 17日 和歌山県 NPO 法人アンケート調査
- ・ 20日 ZOOM 講座+県内中間支援機関意見交換会
- ・ 22日 紀州っ子アドベンチャーフェスタ実行委員会
- ・ 23日 インターン受け入れ(～9月9日)/理事会
- ・ 24日 NPO のための防災講座
- ・ 25日 人権研修
- ・ 26日 ろうきん NPO パートナーシップ連携会議
- ・ 29日 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会

9月

- ・ 1日 おもしろ環境まつり実行委員会
- ・ 11日 ろうきん NPO パートナーシップ制度シンポジウム
- ・ 16日 和歌山市 NPO・ボランティア交流会/花王ハートポケット倶楽部助成募集開始
- ・ 27日 和歌山市協働推進委員会
- ・ 29日 おもしろ環境まつり実行委員会

10月

- ・ 5日 ミニ助成金講座
- ・ 15日 ろうきん笑顔プラス 寄附講座
- ・ 19日 サポセン会計講座(1)

- ・ 20日 労福協まつり実行委員会・おもしろ環境まつり実行委員会

11月

- ・ 4日 人権講演会
- ・ 7日 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会
- ・ 13日 NPO 交流会
- ・ 18日 事務支援カンファレンス講習会
- ・ 19日 ふれあい人権フェスタ/労働者福祉まつり
- ・ 25日 サポセン会計講座(2)
- ・ 26日 災害ボランティアセンター設置訓練
- ・ 27日 SAVEJAPAN2022-23 シーズン第1回
- ・ 29日 ろうきん NPO パートナーシップ制度会議/和歌山市協働推進委員会/

12月

- ・ 2日 花王ハートポケット倶楽部助成審査会
- ・ 3日 おもしろ環境まつり
- ・ 8日 明治 HD お菓子寄贈事業
- ・ 10日 紀州っ子アドベンチャーフェスタ
- ・ 17日 サポートセンター大掃除
- ・ 20日 理事会
- ・ 23日 和歌山県社会福祉協議会地域福祉フォーラム

1月

- ・ 17日 人権研修/松江地区子ども見守り隊講座
- ・ 22日・27日 NPO 事務支援カンファレンス NPO 事務局セミナー
- ・ 23日 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会
- ・ 28日 和歌山市議との円卓会議
- ・ 29日 伊都地区公民館学習会
- ・ 30日・31日 日本 NPO センターCEO 会議

2月

- ・ 2日 わくわく会議
- ・ 5日 SAVEJAPAN2022-23 シーズン第2回
- ・ 7日 和歌山市協働推進委員会/スタッフ人権研修
- ・ 10日 田辺市職員研修
- ・ 11日 ろうきん NPO パートナーシップ報告会
- ・ 12日 NPO センター20周年記念フォーラム
- ・ 17日 サポセン中間支援意見交換会
- ・ 21日 橋本市交付金事業報告会
- ・ 22日 サポセン会計講座(3)
- ・ 24日 NPO 事務支援カンファレンス学習会
- ・ 28日 理事会

3月

- ・ 7日 花王ハートポケット倶楽部助成贈呈式
- ・ 11日 県社協災害ボランティアセンター研修/わかやま SDGs パートナーシップ基金審査
- ・ 15日 田辺市長と NPO 法人市民活動フォーラム田辺意見交換会
- ・ 24日 岡山県ボランティア NPO 支援センター視察
- ・ 22日・29日 エコネット近畿 SDGs リーダー養成講座
- ・ 23日・25日・29日・30日 NPO ウェブ報告システム操作説明会